※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	爽解　数学Ⅰ　（啓林館）						
副教材等	爽解準拠問題集　定着演習編　アクシス　Axis　改訂版　数学Ⅰ＋Ａ（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と共同で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で，自分の考えを発表したり，議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく，途中式や考え方も書くようにしましょう。また，各自答え合わせをしてください。答え合わせは，自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。

２　学習の到達目標

①数と式，２次関数及び図形と計量について、基礎的な知識や技能を身につけるようにする。
②事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにする。
③数学と人間の活動の関係について認識を深めるとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，２次関数及びデータの分析における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力や図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数と式	第１節　多項式 １　多項式とその加法、減法 ２　多項式の乗法 ３　因数分解	a：乗法公式，因数分解の公式の意味や複雑な式が簡単に帰着できることを理解するとともに，式を目的に応じて変形することができる。 b：学習した計算方法と関連付けて，式を多面的に考察することができる。 c：式の変形，整理などの工夫において，よりよい方法を考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第２節　実数 １　実数 ２　根号を含む式の計算	a：数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応していることを理解するとともに，簡単な無理数の計算ができる。 b：実数の大小関係と数直線を関連付けて考察することができる。 c：対称式の求め方に興味を示し，自ら考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第３節　１次不等式 １　１次不等式 ２　絶対値を含む方程式・不等式	a：１次不等式の解を求めることができる。 b：不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，１次不等式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第２章　２次関数	第１節　関数とグラフ １　関数 ２　２次関数のグラフ ３　２次関数の決定	a：２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており，平行移動を利用して２次関数のグラフを描くことができる。 b：２次関数の式とグラフについて，コンピュータなどの情報機器を用いて描くなどして，多面的に考察することができる。 c：２次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち，それらを２次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第２節　２次関数の最大・最小 １　２次関数の最大・最小 ２　２次関数の最大・最小の利用	a：２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し，最大値や最小値を求めることができる。 b：２次関数の決定において，条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 c：日常生活における具体的な事象の考察に，２次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第３節　２次関数と方程式・不等式 １　２次方程式 ２　２次関数のグラフとｘ軸の共有点 ３　グラフと２次不等式 ４　２次不等式の利用	a：２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。 b：日常や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり考察することができる。 c：２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し，値の変化や２次方程式・２次不等式の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第3章　集合と命題	第１節　集合 １　集合	a：集合に関する基本的な概念，法則などを理解し，知識を身に付けている。 b：ベン図などを用いて集合の考えを論理的に考察・表現することができる。 c：事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを利用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第２節　命題と証明 １　命題と集合 ２　逆・裏・対偶	a：集合と命題の関係について理解し，それらを用いて命題におけるいろいろなことがらを理解することができる。 b：集合にて用いられる言葉や記号について理解したうえで，その関係性について考察・表現することができる。 c：対偶を用いた証明法や背理法の考え方に関心をもち，直接証明法では難しい証明に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノーt 振り返りシート
3学期	第4章　図形と計量	第１節　鋭角の三角比 １　正弦・余弦・正接 ２　三角比の相互関係	a：鋭角の三角比の意味と相互関係を理解している。 b：図形の構成要素間の関係を，三角比を用いて表現するとともに，その性質や相互関係を考察することができる。 c：三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心をもち，事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第２節　三角比の拡張 １　$0° \leqq \theta \leqq 180°$の範囲にある角$\theta$の三角比 ２　三角比の相互関係	a：鈍角まで拡張した三角比の意義と相互関係を理解している。 b：座標平面上の半円を用いて、$180° - \theta$の三角比とθの三角比との関係を導く過程を考察することができる。 c：鈍角の三角比と鋭角の三角比との関係について関心をもち、考察しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第３節　図形の計量 １　正弦定理 ２　余弦定理 ３　正弦定理と余弦定理の利用 ４　図形の面積 ５　空間図形の計量	a：正弦定理，余弦定理を理解し，それを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 b：図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象を数学的に捉え，問題を解決したり，考察することができる。 c：正弦定理や余弦定理の有用性を認識し，平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
	第５章　データの分析	第１節　データの整理と分析 １　度数分布表とヒストグラム ２　データにおける平均値，中央値，最頻値 ３　データの散らばりと四分位数 ４　分散と標準偏差	a：データの分析における基本的な概念，原理・法則などを理解し，分散及び標準偏差の知識を身に付けている。 b：整理した表，図，値などの意味を理解し，そのデータの特性をとらえることができる。 c：分散及び標準偏差などを用いてータの傾向を把握し，事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
		第２節　データの相関 １　データの相関と散布図 ２　相関係数 ３　分割表	a：散布図及び相関係数の意味を理解し，相関を読み取ることや相関係数の値を求めることができる。 b：散布図と相関係数から２つの変量の間の相関を考察することができる。 c：目的に応じてデータお収集したり，散布図に表したり相関係数を求めたりしようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第３節　データの検証 １仮説検定の考え方	a：仮説検定の考え方において，実験の結果から検証に必要な割合を求めることができる。 b：身のまわりで気づいたことなどに対し，統計的に解決可能な問題を設定することができる。 c：身のまわりの事柄について，問題点を仮説検定の考え方等を用いて解決しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度